

神戸医療生協支援ニュース

2011年4月6日 第14号

■第6陣 支援(4名)決まりました。

氏名	中村	穀内	中井	岸本
職種	事務	看護師	看護師	介護職
職場	協同病院	協同病院	つばさ	ふたば

★出発式は、4月11日(月)病院前駐車場でいきます(短時間)。JRの出発時間がわかり次第、お知らせいたします。

■4月以降の支援について

全日本民医連は4月2日に臨時理事会を開催し、4月以降の支援や現地での対策本部の改変を提起し了承されました。昨日の県連理事会でもその内容が検討され、兵庫民医連としての支援については、現行の支援で行う事が確認されました。

全体では、1日に必要な支援者数を76名とし、全国に振り分けられています。

又、現在は宮城に支援を集中していますが、今後の支援については、岩手や福島の状態を見ながら、提案がされる事になります。

■支援物資について

4月15日を区切りとし、集まっている物資については、事務局で検討し被災地へ送る事といたします。

まだまだ、女性・男性用肌着が足りていません。新品限定ですが、ご協力のほどよろしくお願い致します。地域の支部からは、支援物資が届いています。ありがとうございます。



神戸から、被災地への「激励と連帯」のメッセージを送りましょう！

・昨日の兵庫民医連理事会で、被災地への激励と連帯のメッセージを送る事を確認しました。

神戸医療生協は、「福島医療生活協同組合」へ送る事になります。

単位は、各事業所や各職場ですので、詳細を決め次第、お知らせいたします。4月中には送る予定で進めます。



宮城厚生協会…新職あいさつ



今年の入職式での新職のあいさつ

■現地からのレポート

(橋 明子)

3月31日～4月4日 支援者数もピーク時200人だったのが68名(医師11看護19)

坂総合病院はほぼ平常診療支援はERでの診療支援と避難所・地域訪問にわかれ、配属される。

私は連日、避難所支援(塩釜公民館)

大阪保険医協会からの開業医・東京の小児科医とのチーム。避難所は3月末で統廃合されており他の避難所から異動してきたばかりという人も多い。診療は風邪・発熱・不眠 血圧の高い人も目立つ。丁度、入浴サービスのボランティアが入っていたので協力して入浴介助をした。コンクリートの地下室で何もない場所だったが、なるべくたくさんの方に入ってもらいたいと更衣室の設置や手順を決めて30人の人に入ってもらえる事ができた。震災後はじめて更衣したという方も居られ湯に浸かりながら涙ぐまれたり、被災状況を話されたりでもらい泣きしてしまう。

病院の周辺はほとんど被害のわからない状況で 朝、津波被害の大きい地域にタクシーで出向き、その壮絶な状況を見てきたので被災者の話がよくわかった。見ててよかったと思う。細かな要求は掘りおこせば、まだまだありそう・・・